広報かじき
No.332
昭和57年 7月号
発行 加治木町
編集 総務課

先生とはしゃぐ児童たち—錦江小学校のプール開きで

子供を水の事故から守ろう

夏休み……海やプールはチビッ子たちでいっぱい。水しぶきの中で，どの顔も輝いて生き生きしています。子供を水の事故から守るために，海やプールで泳ぐときは十分注意しましょう。

◆人口22,593(+30) 男10,644(+20) 女11,949 (+10) 世帯 7,535(+17) 57.6.1現在( )前月比

車座で知事と語ろう

対話集会開かれる

加治木町民と知事との「車座対話」は六月十日護国神社境内で、町民およそ二百人が参加して開かれました。

午後一時過ぎ、同神社境内に到着した知事は「この車座対話は皆様方が日常生活の中で、県政に対してどのような要望等をもっておられるかを伺いながら、皆様方といっしょに知恵と力を出し合ってよりよい県政の推進をはかるため開いているものです。

加治木町は交通の要衝であり、昔からたいへん由緒ある古い町です。それに新しい時代の空港、あるいは縦貫自動車道を加え、発展の素地を備えておりますが、これをどのようにして最大限に活用していくかということが、加治木町の課題であろうと思います」とあいさつしました。

知事を囲んで車座対話

町民からはテクノポリス構想における、加治木町のメリットあるいは行政改革の問題、農業、福祉、土木、教育などはば広い問題について、意見、要望が出され、活発な話し合いがもたれました。

主なものは次のとおりです。

町民 お隣りの溝辺町には航空機燃料譲与税が、また蒲生町には過疎債があるが、加治木町にはそのようなものがない。

こういうことが、本町の財政を圧迫し、他の町に比べ発展を阻害しているのではないか。

知事 それぞれの制度がものさしを作っています。例えば過疎債においては、十五年間の人口の減少率が〇・二以上、財政力指数が〇・三七以下、そういうものさしに当てはめていくと、極端な場合には〇・〇一で対称外になる市町村もあるわけです。

加治木町に大きな仕事がある場合は、他の地方債等で応援したい。

町民 国分、隼人を中心としたテクノポリス構想と加治木町との関係について説明をお願いします。

知事 テクノポリス構想は先端技術産業を中心に、産、学、住を合理的に積み上げたまちづくりをしようというものです。

この地域では国分、隼人が核となり、周辺のところがテクノポリス圏域をつくります。

直接隣接する加治木町とテクノポリスの関係ですが、まず、企業立地におきましては、やはり国分、隼人地域が中心になりますが、加治木町にも関連する企業の立地が期待できる。それに伴う居住環境の整備等が必要となってきます。

町民 国の行財政改革に合わせて県も行財政改革を進めるか。

国の事務が地方に押しつけられることはないか。

知事 本来、住民の日常生活に関係の深い仕事は地方にやらせる方が住民の目もとどくし、効率的にできると思います。

押しつけるのではなく、むしろその方向にもっていくのがいいのじゃないか。その場合は当然、財源措置は国がじゅうぶんにやることが条件ですが、県では、国よりもいち早く、去年、本庁の課と室を七つ減らしました。今年は、出先機関をどうするか検討しているところです。

町民 県において、市町村合併による広域行政を進める計画はありませんか。

知事 加治木町の行政規模でありますと合併した方がいいのか、この規模で行政をもっとがっちりとやって、隣接町とは協議会等を通じて広域行政をすすめるべきか考えなければなりません。

町民 県政は横の連絡がなく、たて割行政のため、我々は非常にやりにくい。たて割行政を改善していただきたい。

知事 県ではたて割行政の弊害を防ぐようにできるだけ横の連絡を密にしておりますが、さらに厳しく反省し、たて割の弊害を最少限にとどめるようがんばりたい。

町民 心身に重度の障害をもっている子供たちがいつも行政の中からはみ出しています。そういう子供たちのための施設を作ってもらえないか。

知事 身を切られるような思いで伺っていたわけですが、一番気の毒な人に対する施設となりますと、国も県も財政面で対応できなかったのが今日までの実情です。

苦しい、金がないということばかりも言っておれない問題ですから、重大な緊急課題として検討させていただきます。

町民 第三土曜日を青少年健全育成の日と定められました。具体的な考え方を伺いたい。

知事 家庭の日の前の第三土曜日を青少年健全育成の日にしましたが、この日にいろいろな行事を計画したり、みんなで青少年健全育成を考える日にしたいので、みなさんのご協力をお願いします。

町民 国道十号バイパスの早期実現について要望します。

知事 大隅縦貫自動車道との絡みで、加治木～小浜間の方を

先に手をつけることになります。当面、西側は後まわしになることをお許しいただきたい。

町民　寡婦に対する医療補助はできないか。

知事　全国知事会において、政府に実現方を要請しておりますが、県としては国の動きをみながら、判断せざるを得ない状況でありますので、ご理解をお願いします。

町民　小規模の棚田、迫田の基盤整備事業の補助率を県営、団体営なみに引き上げてもらえないか。

知事　対称地域が非常に広いですから、補助率を上げれば、それだけ補助事業の件数を減らさなくてはなりませんので、今のところご辛抱願いたい。

町民　日豊線（加治木区間）の高架計画については断念せざるを得ないと受け賜っておりますが、鉄道が狭いまちを横断し、町発展の大きな阻害要因となっています。なんとか県の方で、高架に取り組んでもらえないか。

知事　国鉄の今日の財政事情では大都市周辺地域で複線化をして、国鉄に収入をもたらすところを優先してやるものですから、大都市周辺地域以外は地元が経費を負担してやらなければなりません。

一方日豊線の国分、鹿児島間の複線化を要請しています。今のところ、国鉄の見通しは暗いですがその時期も一つのチャンスかも知れません。

今すぐ高架化ということは財政的に自信がもてない感じがします。

〝どうぞいつまでもお元気で〟

加治木望岳園を慰問

ミニ対話では、隈原和牛同好会のみなさんと話し合いがもたれました。

まちづくりの現状を説明する東町長

高岡公園で

龍門司焼の技術部門で県の無形文化財に指定されている川原軍次さんの案内で龍門司焼企業組合を視察。

県立加治木養護学校を慰問

「私たちも病気に負けず，勉学や訓練に励みます」と児童生徒を代表して，堂上貴史君がお礼を述べました。

町の発展に貢献252人表彰

町総合表彰式

町政の発展にそれぞれの分野で貢献された方々を表彰する昭和五十六年度町総合表彰式は多数の関係者が出席して、六月四日町福祉センターで行われました。

受賞者は教育の振興に貢献された方々をはじめ、地域づくり、スポーツ活動、青少年健全育成あるいは町税の納税に優秀な成績を収められた納税組合長、また、優良従業員として長い間企業の発展に尽力された方、農林畜産業において、経営近代化の推進および生産性の向上に功績のあった方々など二百五十二人でした。

表彰される優良従業員さん

東町長は「みなさんは郷土愛にもえて、町政の発展に貢献していただきました。心から敬意と感謝の意を表します。

どうか、今後とも健康に留意して、町政へのなお一層のご支援とご協力をお願いします」と挨拶、このあと表彰式や感謝状が贈られました。

来賓として出席した加治木税務署長、加治木財務事務所所長、溝口県議会議員、下猶町議会議長等が「町政の発展に大きな貢献をしていただき、そのご功績とご苦労に対し心から敬意と感謝の意を表します。また、皆様の蔭にあって、ご協力いただきましたご家族の方々にも改めて、ここに感謝の意を表します」と祝辞を述べました。

これにこたえて、受賞者を代表して、大工園純孝さん(東諏訪)が、「地域社会に役立つことを喜びとして頑張ってきました。これまでの経験を生かして、地域社会に貢献したい」と挨拶しました。

主な受賞者は次のとおりです。

教育振興に貢献

三反田藤助(姶良町)、木佐木敏子(姶良町)、仲山哲夫(鹿児島市)、鮫島馨(迫上)、鶴田義直(赤谷)、諏訪國義(吉原)今村近(中福良東)堂森幸雄(隈原上)、篠崎秋明(毛上)、大工園純孝(東諏訪)、徳永隆(竹下)

納税関係に貢献

荒武あや子(川原)、四元義雄(天神)、大迫ノブ(江湖)、稲恒肇(中塩入)、城義信(高井田)、鶴田己吉(地久里)、中摩多美子(竹下)野間武雄(中浜)、下楠園久士(向江町)宇都宮隆(西塩入下)、岩元エミ(茶碗屋東)

商工業発展に貢献

(優良従業員)

河野訓(桃木野)、大久保文清(国分市)、溝口哲男(西塩入上)、前村勝男(市野)、福薗克美(岩穴口)、井元正春(姶良町)、山崎五月子(西塩入下)、中西エミ子(姶良町)、加世田ナミ(新町)、池ノ上ゆり子(小陣)、松元英文(国分市)、浦川盛哉(毛上)、湊俊紀(隼人町)、竹田茂(隼人町)、黒仁田道義(萩原)

◆所得税

第一期分の納期は七月三十一日まで

所得税の予定納税第一期分は七月一日から七月三十一日までに納税することになっています。予定納税が必要な方には、六月中旬に税務署からお知らせしてありますので、期限をお忘れにならないようにお願いします。

ところで、所得税を納める便利な方法として、振替納税の制度があります。これは、銀行などの金融機関に所定の手続をしておくと預金口座から自動的に納めることができる方法です。

詳しいことは、最寄りの税務署か金融機関にお尋ねください。

サマージャンボ宝くじを発売

予約制です、七月中旬

宝くじファン待望のサマージャンボ宝くじ(市町村振興宝くじ)が七月中旬から発売されます。

このサマージャンボ宝くじは大きな夢と高い確率で知られ、宝くじファンには見逃すことのできない魅力ある大型宝くじです。

この宝くじの収益金は、豊かな住みよい私たちの町づくりに役立てられます。申込み方法など詳細については、七月十五日の新聞(朝刊)紙上に発表されます。

当日の新聞をぜひごらん下さい。

なお昨年の市町村振興宝くじで県内の当選券の主なものは次のとおりでした。

一等　三、〇〇〇万円　一本
二等　一、〇〇〇万円　一本
三等　一〇〇万円　八本
(以下略)

更生保護相談所を開設

○七月二十一日(水)・二十八日(水)午前中

○町福祉センターご利用ください。

＝町保護司会＝

健康優良児を表彰

健康づくり推進協議会

町健康づくり推進協議会の総会は六月八日町福祉センターで開かれ、議事にさきだち昭和五十六年度町健康優良児十三人を表彰しました。

続いて、決算や昭和五十七年度予算及び事業計画が話し合われ、健康づくり運動、栄養改善、母子保健、循環器検診等の事業をさらに推進していくことを決めました。

表彰された健康優良児

保健所長賞

森永眞吾（新富団地）、森永拓郎（新富団地）

春の乳児健診の部

藤崎央翁（蔵王団地）、東恵介（萩原）、米満恵子（豊町）、今村伸弥（下新道）

秋の乳児健診の部

前原直哉（空港団地）、上野廣樹（田中）、福森小百合（永原）、永井聡子（空港団地）

三歳児健診

戎義弘（新中）、上村尚平（東吉原）、中畠由美子（須崎）

表彰された健康優良児とお母さんたち

河川をパトロール

美しい郷土づくり部会

あすの鹿児島をつくる県民運動をすすめている町の美しい郷土づくり部会（永井準部会長）は、花いっぱい、緑いっぱい運動、川や海山をきれいにする運動生活環境の美化運動を推進しております。

河川愛護期間中の六月十六日同部会は日木山川、網掛川などの河川をパトロールしました。

家庭排水による川の汚染防止対策や川にゴミ、空かん等を投げ捨てない運動をさらに強化する必要がある。また、道路わきの草とり花だん作りは自治会や公民館活動を通じて、自主的に取り組むべきであるとパトロール結果が集約され、この運動をより積極的に推進するため、第二日曜日を「清掃の日」として徹底をはかることなどが話し合われました。

美しい郷土づくり運動の成果をあげるには、それぞれの地域の人びとが「自分たちの住むまちは自分たちの手で」を合言葉に家庭、学校、職場、地域社会でこの運動を展開しなければなりません。

皆さん、こぞってこの運動に参加し、身近にできることから一つひとつ実践しましょう。

パトロール中の美しい郷土づくり部会

高齢者学級生

公園通りのさつきの手入れ

高齢者学級、園芸教室に学ぶ湯浅三郎さんら五十人が、学級で学んだことを役だて、きれいな街づくりをしようと、六月九日午前九時から、くわ、せん定バサミなどを持ちより、公園通りのさつきの手入れをしました。

花だんの草とり、施肥、せん定清掃と順序よく効率的に作業をすすめ、すがすがしい通りになりました。暑い中たいへんご苦労さまでした。

さつきの手入れをする学級生

宅建取引主任者資格試験は

十月十七日

昭和五十七年度宅地建物取引主任者資格試験は次のとおり行われます。

一、日　時

十月十七日(日)午後一時から三時まで

二、試験場

鹿児島市立城西中学校及び鹿児島県立短期大学

三、受験案内等の問い合わせ先

鹿児島県土木部建築課

電話〇九九二㉖八一一一

鹿児島神宮

お田植え祭

活躍する木田青壮年

鹿児島神宮(隼人町)のお田植え祭用の苗取りは前日の六月十九日大脇修身さん(五二)の水田で行われ、大脇サツさん(七七)堀之内ケサミツさん(七六)上水流キミさん(七五)の三人が奉仕しました。

「あいがて苗といをしもした」と感激。

お田植え祭用の早苗は古来木田地区の八幡田(はちまんでん)で作るならわしになっており、同地区の人々が代々受け継いできました。

今では神領の八幡田が無くなったため、今年は五月九日播種祭を行い、大脇修身さんの水田に苗代を作っていました。

お田植え祭は六月二十日真夏を思わせる炎天下で行われ、秋の五穀豊じょうを祈りました。

郡内各地から六十五人の早男、早乙女が参加して、御神田に早苗を植えました。この内木田地区からは二十人の早男、早乙女が参加。

御神田にお田植えが始まると、木田の青壮年約三十人が「水もゆらゆら　田もゆらゆら　とは、ねいやれ、その田の稲があぜにゆらゆら」と伝統のお田植え歌を歌い古式ゆかしいお田植え祭を盛りあげました。

お田植え祭用の早苗取り

お田植え歌をうたう

タカンバッチョ作り

三代目 有馬国雄さん

「加治木タカンバッチョ、つさ(帖佐)かまげ」とうたわれたタカンバッチョ作りの伝統を三代にわたり、受け継いでいる反土川原の有馬国雄さん(七二)は今日も庭先の作業小屋でタカンバッチョ作りに余念がない。

鹿児島神宮などの祭り用のタカンバッチョはもちろん、一手に引き受けていますが、現在はほとんど民芸品、おどり用として、遠くは山形県あたりまで出荷しています。

さすが七歳の時から初めた大ベテラン。「針のみんも見えもさんでほんのかんごわんさあ、皮きせ(皮を正しく張りつけること)が一番むっかしごわんさ、昔のおなごん人のきもんきせと同じごわす。下じばん、中じばん、一番上がきもんちないもすとおー」と語りながら手早く、よし竹制のタカンバッチョが出来上りました。

この夏は軽くて、すずしい加治木タカンバッチョはいかがですか。

夏休み中の子供の交通事故をなくそう

子供たちが楽しみにしていた夏休みがやってきます。

夏休みにはいると、子供たちは解放感などから、せっかく身についた正しい交通ルールや安全な動作を忘れがちになります。

子供が安全で楽しい夏休みが過ごせるよう家族みんなで交通安全について話し合いましょう。

昨年の十五歳以下の子供の交通事故による死者数は全国で八百九十六人。全死者数の約一〇パーセントにあたります。事故は午後二時から六時までの間が多く、自宅から事故発生地までの距離は、幼児では自宅付近(五十メートル未満)が最も多く、年齢が高くなるに従って遠くなります。

事故の原因は、路上への飛び出しが圧倒的に多く、次いで、車の直前直後の横断、信号無視、路上遊戯の順となっています。

子供・特に幼児は

○一つのものに注意が向くと、周囲のことが目に入らなくなる。

○手を挙げれば、車は必ず止まってくれるというように、物事を単純にしか理解できない。

○その時々の気分によって、行動が変わる。

○いつも通る道路では交通ルールを守ることができても、別の道路では守れないというように、応用動作ができない。

○「危ないよ」というような抽象的な言葉だけでは、よく理解できない。

などの行動特性があります。

そこで、保護者、特にお母さんが、これらの特性と我が子の個性を日常の動作、行動を十分見極め交通ルールを具体的に、しかも繰り返して教えることが大切です。

そのためには、親が常に手本を示し、実際の行動を通じて「正しい交通ルール」と「安全な動作」を身につけるよう、見守ってやることが大切です。

ドライバーの皆さん、住宅地や裏通りを走行する際には、子供の特性を十分頭に入れ、子供のおもわぬ飛び出しなどにも十分対処できるよう、慎重な運転に努めてください。

区抗地対 一般女子バレーボール

決勝戦　城西対城北

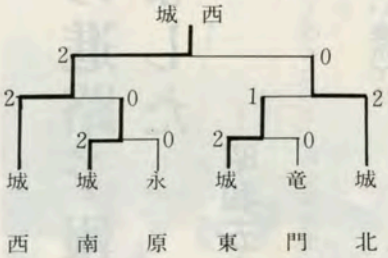
優勝　城西地区

地区対抗一般女子バレーボール大会は五月三十日本年度の地区対抗競技のトップをきって行われました。

町内九地区から約百人の選手が出場。試合はリーグトーナメントで一勝したチームが決勝トーナメントに進む方式で行われ、決勝戦では城西地区が二対〇で城北地区をやぶり優勝しました。

優勝＝城西地区、二位＝城北地区、三位＝城東地区

決勝トーナメント



フレンドリー準優勝

県身障者ソフトボール大会

第四回県身体障害者ソフトボール大会は六月二十日桜島溶岩グランドで開かれ、九チームが参加、本町の身障協チーム　フレンドリー（監督児玉実憲）は、日ごろの練習成果を発揮し、決勝戦に進出しましたが、おしくも5対2で有明町のチームに勝を譲りました。

しかし、選手一同は「来年へ大きな希望ができた」と早くも闘志を燃やしていました。

決勝戦

フレンドリー　0 0 1 0 0 1 0 0 1 0 ― 2
有　　明　0 0 2 0 0 0 3 ― 5

また、六月十三日県身体障害者スポーツ大会は県立鴨池陸上競技場を主会場として開かれ、五人が出場、優秀な成績をおさめました。

百メートル競争（片下肢不完全障害男子）
一位　中森光哉（垂ノ口）
二位　大迫政治（宮田ケ平）

百メートル競争（片手部切断男子）
一位　岩川一男（高井田）

槍正確投（両下肢不完全障害男子）
一位　大山一夫（下新道）

ソフトボール投（片下肢不完全障害男子）
二位　大迫政治（宮田ケ平）
二位　中森光哉（垂ノ口）

卓　球（聴覚障害男子）
三位　前田穂積（下新道）

卓　球（両下肢不完全障害男子）
三位　大山一夫（下新道）

準優勝のフレンドリー

県身障者スポーツ大会で活躍したみなさん

キス釣り大会

優勝　村岡さん

観光キス釣り大会（主催錦海漁協、協賛加治木姶良観光協会）は六月二十七日行われ、キス重量の部で村岡良一さん（岩原西）が二年連続優勝を果たしました。

午前四時三十分百九十五人の釣りマニアが加治木港に集合、四十六隻の漁船にそれぞれ分乗して出港、風もなく、おだやかな海で腕を競いました。

成績は次のとおり。

キス重量賞
㊙村岡良一（岩原西）一、九二〇グラム
②田上和美（吉田町）一、七六〇グラム

キス大物賞
仮屋幸一（蔵王団地）一四〇グラム

雑魚大物賞
白石成功（鹿児島市）二六〇グラム

ネズミゴチ重量賞
川東正明（鹿児島市）六五〇グラム

少年賞
徳永順一（溝辺町）七七〇グラム

アメ大物賞
勝目一雄（姶良町）一四〇グラム

名人位
立山経弘（高井田）

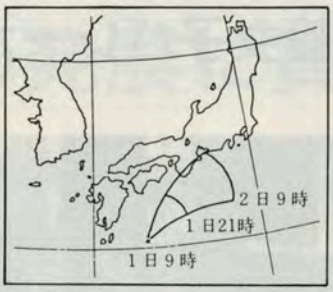
台風の中心の進路予報の表示が変更されました

―昭和五十七年六月から―

今までの表示方法では、十二時間後や二十四時間後の予報位置が円弧で示されており、台風の中心がこの円弧上のどこかにやってくる、というような表現になっていました。これでは台風の進行速度についての予報の誤差がまったくないかのような印象をあたえます。

◇　◇

今までの表示方法



台風の中心が円弧上のどこかにくる、というような表現で、進行速度についての予報誤差の表示はありませんでした。

その点を改めたのが、新しい表示方法です。

▽新しい表示では

十二時間後や二十四時間後の台風中心の予報位置を×印で表します。これは、台風中心のもっとも確からしい予報位置です。この予報位置には、現在の技術では避けることのできない誤差が生じます。この誤差を半径とした円を、×を中心として描きます。破線の円がそれです。この円を予報円と呼びます。

言葉で表現するときは、例えば次のようになります。

例　台風十九号の中心は、十五日十五時には、潮岬の南南東約九十キロメートルの北緯三十三度〇〇分、東経百三十六度十分付近の海上に達する見込みです。予報円の半径は百二十キロメートルです。

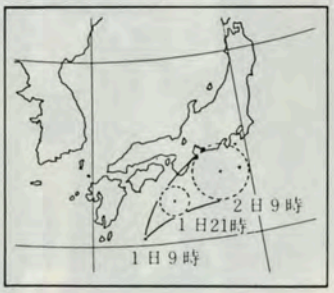
▽予報円

○予報円は、台風の中心位置の予報の誤差を示します。台風の暴風域や強風域を示すものではありません。

○地図の上で予報円の大きさをコンパスなどで知ろうとするときは、地図の緯径度線を利用すると便利です。緯度一度分の子午線の距離が百十キロメートルです。

◇　◇

新しい表示方法



点線の円内のいずれかに台風の中心がくるという予報で、進行方向のほかに、進行速度についての予報誤差も表示します。

歳時記

夏休み

夏休みというと、かつては、子供の〝年中行事〟の一つでしたが、最近では大人もその仲間入り――企業の七二・一％が夏季休暇を実施しており、平均二・四日の夏休みをとっています（労働省調べ）。

メーカーなどでは、工場の機械を止めて、全社員が一週間くらい休むところもあり、また、一定の期間にそれぞれ交代で休暇をとる企業もあるなど、いまでは多くのサラリーマンが夏休みをエンジョイしています。

一方、学校の場合は、市区町村の教育委員会が夏休み期間を決めており、地域によって多少異なるようです。北海道・東北など寒い地方では、夏休みを短くして、その分、冬休みを長くとっています。

ところで、最近では、家族そろってのレジャーを夏休みの年中行事の一つにする家庭も増えています。

国内での宿泊を伴う観光・レクリエーションを月別に見ると、一年のうちで八月が最も多く、七、八月を合わせると年間の三〇％近くを占めています（総理府調べ）。

夏休みはレジャーにスポーツに楽しいシーズンですが、気をつけたいのが休暇中の交通事故や水の事故。ドライブ旅行や海水浴では十分注意しましょう。

また、夏休みは少年非行が増える時期でもあります。お子さんのいる家庭では、生活のリズムが乱れないように気を配り、心を引き締めて夏休みを過ごさせるようにしたいものです。

380余年の伝統
加治木名物くも合戦

加治木名物〝クモ合戦〟は六月六日町福祉センターで約千五百人の観客を集めて行われました。

約二百匹のクモ（黄金グモ）が熱戦を展開、参加者は少年二十六人、大人二十六人の合計五十二人

このクモ合戦は今から三百八十余年前、島津義弘公が朝鮮の役の陣中、兵士の士気を鼓舞するため黄金グモを集めて戦わせたのが始まりで、義弘公の城下町である本町で毎年旧暦の端午の節句に近い日曜日に行われているものです。

合戦に先立ち、優良グモの選考が行われ、体の大きさ、体の均整ヒップの張りぐあいなどを審査し二匹の〝ミスヤマコッ〟が誕生しました。

つづいて、かみしも姿の竹内親男審判長から競技上の注意があり大人の部、少年の部に別れて試合開始「タッ　タッ　タッ　タッ　タァー、それいけ、タッ　タッ　タッ　タァー」の掛声もするどく、だすつけたヤマコッ（闘争心をあおられたクモ）はいざ戦場へ。

勝負は相手のクモのトン（背尻）に白い糸をかけたり、咬みついたものが勝ち、また、合戦中相手のクモを振り落したものも勝ちとなる。

双方疲れて、戦意を失うと審判が砂を振りかけ闘志をかきたてる。

延々三時間、勝ち抜きで三勝したクモによるトーナメント戦で最強のクモを決める王将戦では大人の部で鹿児島市の入部貢さん（三八）少年の部が知覧町の日高あゆ子ちゃん（七つ）がそれぞれ勝ちました。

成績は次のとおり

▽優良グモ

①前田耕夫（下新道）②久保田幸光（鹿児島市）

▽少年の部

㊝大岩根誉（垂之口）②日高あゆ子（知覧町）③竹内孝博（萩原）

同王将

日高あゆ子（知覧町）

▽大人の部

㊝浜田章則（小陣）②入部貢（鹿児島市）③久保田幸光（鹿児島市）

同王将

入部貢（鹿児島市）

合戦を見いる人たち

合戦をさばく竹内親男さん

役場職員の異動

町役場職員の異動が、七月一日付で次のとおり行われました。

（　）内は旧課

保健衛生課付（保健衛生課長補佐）犬童博子▽住民課付（住民課年金係長）上野嘉子▽保健衛生課長補佐（税務課課税第一係長）榎谷勝▽住民課年金係長（福祉課永原保育所所長）塩屋タミエ▽税務課課税第一係長（税務課）香川紀征▽福祉課永原保育所所長（教委加治木幼稚園）畠中幸子▽経済課農業構造改善係長（経済課農業振興係長）加治屋博▽収入役室用度係長（経済課商工水産係長）上村正和▽経済課農業振興係長（経済課）久木元勉▽経済課商工水産係長（総務課）久保繁▽経済課（耕地課）小野田健一▽総務課（教委学校教育課）恒吉照三

新規採用（七月一日付）

教委学校教育課　谷山浩

退職（六月三十日付）

梅木兼夫（収入役室用度係長）

竜門俳句会

拘りの一事ありて明易き　田代　俊泉

晩春の灘の入り日やひびく鐘　上野　光

青嵐ふとよぎり行く肌の冷え　高木　正男

母の日や凌霄の花レイとして　恒吉　斗南

滴りや森にくぐもる鳩の声　能勢真砂子

引潮や水音速き梅雨の堰　加藤　白柳

岩壁に飛燕の群れや涛白し　横山　江南

栗の花管制塔を遥かにす　鶴田　耕

杉山の匂ふ小径や著莪の花　井之上透山

一山の緑を制す椎の花　宮脇　思川

父と子の距離遠くなる端居かな　川崎　黒兎

心配ごと相談

毎週木曜日の午前中

相談に応じています

〝ご気軽に〟

雨天のときは中止。

「米」の購入は許可店で！

米は政府管理米を責任をもって販売している県知事許可店で、米印の看板を店頭に掲示している（加治木町主食販売業者会加盟店）から安心して買いましょう。

許可店名	所在地	電話番号
大串米穀店	岩原西	③一〇六四
榎薗商店	御狩山	②二七一八
今田商店	新富町	②二五二三
瀬戸山米屋	錦江町	③四一二〇
橋口米屋	錦江町	②二七一七
池田商店	永原	③三二八一
三幸商店	本町	②二五二四
岩田商店	朝日町	②二三三五
池田商店	岩原東	②二〇五八
法元商店	田中	②二三一七
今薗商店	本町	②二五四三
岡山米店	錦江町	②二一七五
村田商店	朝日町	③一六〇〇
片平商店	仮屋町	②二三九一
岩下修吾	繁美	須崎
楠元崇浩	健一	吉原
川井田　勇	幸市	下新道
南野　敦	勝久	西塩入上
佐藤真一郎	大	西江口団地
桃木野真紀	守	今町
英　友治	良治	高井田
森元昌平	正純	今町
松尾奈保子	裕美	内原田
藏園美保	一海	吉原
今園　亮	健一	垂ノ口
高畠美穂	耕三	上木田
村田美沙	建生	浜村
向江由香	行男	岩原西

青空図書館を開設

町立図書館では次の日程で青空図書館を開きます。近くの会場で親子緑陰読書を楽しみましょう。紙芝居もあります。

七月二十七日(火)　護国神社
〃二十九日(木)　隈姫神社
八月六日(金)　竜門の森（小山田）
〃十日(火)　永原小学校（校庭）
〃二十日(金)　精矛神社（校庭）
〃二十四日(火)　錦江小学校（校庭）
時間……午前十時から十二時

うぶ声

五月二十一日から六月二十日までの受付分

出生児	保護者	自治会
向江幸広	義久	豊町
大田黒健児	森行	高井田
山上陽平	晃司	高井田
山角佳代	陽一	岩原西
木ノ下由美子	幸雄	須崎
久保陽一	泉	蔵王団地
木場愛子	広一	高井田
池　史宏	正志	豊町

御寄付

香典返しの代わりに、ご寄付をいただきました。厚く御礼申し上げますと共に、故人のご冥福をお祈りいたします。（　）内は故人。

＝町社会福祉協議会へ＝

五万円　岩原西　豊留幸義（母ノリ82）
二万円　弥勒　湯川明（父吉彦82）
五万円　井手向　古江ヒサエ（夫秋男72）
五万円　須崎　郡山スガ（夫敬次78）
二万円　南塩入　古川清春（弟政春55）
一万円　上嶽　樗木和幸（母ハルエ67）
二万円　萩原　山上サヲ（娘藤田文子52）
五万円　楠園　今西清春（母セイ78）
五万円　柳田　福元春子（夫正春57）
十万円　中塩入　稲恒肇（妻恭子65）
三万円　新町　篠原ツル（夫伊右衛門94）
二万円　豊町　木下泰一郎（母ノフ79）
二万円　江湖　吉元ヨシ子（夫寛樹45）

＝町育英奨学資金へ＝

五万円　須崎　郡山スガ（敬次）
一万円　上嶽　樗木和幸（ハルエ）
一万円　新町　篠原ツル（伊右衛門）

六月二十日までのご寄付を掲載いたしました。ありがとうございました。

訂正とおわび

広報かじき五月号と六月号に誤りがありました。深くお詫びして訂正します。

○五月号のうぶ声欄、出生児「木場領樹（リョウジュ）」は「木場領樹（リョウキ）」に、六月号の保護者「日高初男」は「日高深」に訂正。

○六月号全国書道検定に合格者欄教育部（小中学校）の二段は二級に訂正します。

税は納期内に

今月は、保険税の二期の納期です。

さわやか君

西村　宗